

グランシップ ふじのくに文化情報フォーラム2018秋 Part5

2018.10.14 日 13:00~
 グランシップ6階交流ホール (JR東静岡南口隣接)

f プログラムの詳細い
 内容やテーブルゲスト
 参加者の情報は、ふじの
 くに文化情報センター
 Facebookで公開!
お問い合わせ・お申込み
 電話またはグランシップ
 ホームページ専用申込
 フォームよりお申し込み
 ください。
 グランシップチケットセンター
 TEL:054-289-9000
 (10:00-18:30休館日を除く)
 www.granship.or.jp



空 風

育った文化は、空となり私たちの日常に欠かせないモノとして
 その土地の人々の暮らしを豊かにしてくれます。

様々な種はもちろんですが種を運んでくる風の人が必要です。

その土地に文化が芽吹き、育ち、花が咲き、実を結ぶには
 たくさんの方の熱意と知恵が必要です。

もちろん、
 様々な敵と闘う
 火の人の情熱も
 大切です。

火

水

育てるためには水の人の変化への対応力、思いやりが欠かせません。

そして、種が根付くためには土の人の強い意志や努力が。

何か五大思想にも近いモノがありますね。

文化の種 を見える化する

さて、この秋どんな種に会えるのでしょうか。楽しみですね。

参加無料
 事前申込制

13:00

1 取り組みレポート
 「ふじのくに文化情報フォーラム2018
 個別テーマ実践プログラム」

3月のフォーラムを発端に行った「アイデア
 を実践に結び付ける手法を学び、地域の
 課題を解決する」全3回のワークショップ。
 参加した3つのプロジェクトの進捗状況を
 ご紹介!

A 「地域のアーティストと街をつなぐ」
 坂田芳乃(アルテ・プラザ代表)

B 「東海道で綴る、ワタシ旅」
 柴山広行(子屋14代目)

C 「地域の課題を現代アートで解決する」
 羽鳥祐子(原泉アートプロジェクト代表)

14:00

2 交流プログラム

第1部 文化の種を見える化する

しずおかで文化活動に向き合う16名のゲストと
 テーブルを囲み、「どこにどんな人がいるか」
 「どんなムーブメントが起こっているか」
 といった、ネットワークの種となる情報を
 交換しながら、マップに落とし込み、見える化
 しよう!

16:10

第2部 フリーセッション

同じテーブルにできなかった人ともこの
 時間でつながろう!

17:30

交流会

場所…グランシップ1階「レストラン&カフェ」
 料金…会費制 3千円
 参加…希望者のみ ※お申込時にお知らせください。

1976年札幌市出身。2001年から東京と近郊のジャズクラブ、日比谷公会堂でのイベント、国際会議、お公家さんのバンド等で歌う。企業で貿易事務等も経験。(転職30回以上)2016年にフランス人の夫と2幼児と共に伊東市へ移住。(20回目の転職)

歌手、Jazz/IZU実行委員会 代表



しね 紗矢香 | 伊東市

グラフィックデザイナー。沼津市の新仲見世商店街にグラフィックデザイナーのためのシェアオフィス「NUMAZU DESIGN CENTER」を9月に立ち上げる。また、まちのスキマ空間を会場にした移動式ミニシアター「スキマcinema」を主宰。



大木 真実 | 沼津市

子どもの社会教育と商業活性をつなぐ取り組み「こどもわくワーク」の企画運営を実施。またアートによる地域づくりにも力を入れ、2017年度からは当市を走る大井川鉄道無人駅を舞台にした「UNMANNED無人駅の芸術祭/大井川」を行う。

地域活性を専門に扱う団体クロスメディアしまだを設立。コミュニティサイトを活用した市民活動活性化事業を皮切りに事業を開始。ICT、イベントなど人と情報をクロスさせる市民交流事業をはじめ、地域に向けた新しい視点からの取り組みを企画展開している。



大石 歩真 | 島田市

中米滞在後、都立公園の現場にてイベント企画運営・デザイン制作を行う。人と自然を繋げるventanaを立ち上げ独立後、掛川市へ移住。2017年かけがわ茶エンナーレでの縁をきっかけに、原泉アートプロジェクトを立ち上げ、10月には原泉アートフェスティバルを開催予定。



羽鳥 祐子 | 菊川市

2012年、イギリス・エディンバラでの世界最大の芸術祭(演劇祭)で最高峰の賞「スコットランド銀行・ヘラルド・エンジェル賞」を受賞。受賞作品の演出、振付、構成のすべてを長谷山が創った。2011~2014年ふじのくに文化芸術振興補助金交付団体。



長谷山 高士 | 菊川市

子ども・若者の地域参画コーディネーター / コミュニティコーディネーター。静岡県内を中心に、子ども・若者がひとりの市民として参画できるまちづくり活動に取り組む。早稲田大学大学院修士課程に在籍中、国内や欧州の若者政策について研究。



宮城嶋 遥加 | 静岡市

幼少からバレエ・創作ダンスなどの経験を積み様々な作品に出演する。主な出演作にSPAC『ロミオとジュリエット』ジュリエット役、静岡・スイス公演、SPAC『アンティゴネ』(演出:宮城嶋)の静岡・フランス公演、SPAC『変身』静岡・上海公演ほか。



大阪府江之子島文化芸術創造センター館長。広義の意味でのデザイン、文化戦略を、21世紀型経営の最重要資源として位置づけ、企業、組合、商店街、地方自治体等の活性化におけるコンサルティング活動を展開。1992年から2006年まで「大道芸ワールドカップIN静岡」のプロデューサー、2011年からは川根本町文化会館の企画運営。2013年からは「TACT FEST(大阪国際児童青少年アートフェスティバル)」のプロデューサー。瀬戸内国際芸術祭2016 APAMSディレクター。2016年4月より静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター(CCC)アドバイザー。静岡デザイン専門学校では、18年間教鞭を執る。



甲賀 雅章 (進行)

グランシップ ふじのくに文化情報フォーラム 2018秋 part5

16人の風の人々が、素敵な文化の種を運んでくれます。皆さんも種(種の人)を持ち寄ってください。みんなで、文化の種地図を作ってみましょう。

福岡生まれ。40歳の頃、デザイン思考による「地域づくり」に関心を持ち、デザイン会社に転職。その後2014年一般社団法人マチテラス製作所を梶野市に設立。持続可能な地域づくりのため、人と人をつなぐ「機会」や「場」を創造し提供している。

一般社団法人マチテラス製作所 代表理事



深野 裕士 | 梶野市

県職員退職後、2018年4月、任意市民活動団体「アートと地域をつなぐアルテ・プラサ」を三島市で立ち上げ。地域のアーティストと地域の様々な分野との人材マッチングや交流活動を行うとともに、アートと地域をつなぐ拠点づくりを目指す活動を推進中。

TAKE HEART BEAT Big Band Jazz Orchestra 代表(バンドマスター Drums担当)楽曲のアレンジからライブのステージングまでを行い、日本で唯一のショーステージを成功すべく、日々挑戦し続けている。



松岡 速人 | 三島市

1978年生まれ、3児の父。常葉橋高校卒業後、大阪桃山学院大学入学。大阪和太鼓グループ「打打打団」入団、2006年丁子屋入社。丸子せんねんマルシェ実行委員長、認定NPO法人丸子まちづくり協議会所属。



柴山 広行 | 静岡市

僧侶、絵師。大学卒業後、曹洞宗の大本山永平寺へ入山。約3年半の修行を経て禅僧となった後、福井から静岡まで行脚。現在は、本業の傍ら「お寺と地域」をテーマにした新コミュニティや、防災拠点・サードプレイスとしての可能性を考え様々な企画を展開中。



丹羽 崇元 | 静岡市

1994年アクトシティ浜松のオープン記念事業の運営を始め、鑑賞型事業、市民参加型事業、地域アーティストとの連携事業などの企画運営を担当。現在は創造都市・浜松として、国内外都市との交流事業や市民の創造的な活動を支援するプログラムを構築中。



後藤 康志 | 浜松市

2011年に辻琢磨、橋本健史とともに建築設計事務所403architectur[e] (dajiba)を設立し、静岡県浜松市を拠点として活動している。同時に、浜松市の中心市街地に立地する商店街と関わり、活動を行っている。



市川 善忠 | 静岡市

静岡で活動している音楽家を中心に構成されたオペラ団体。敷居が高いと思われがちなおペラ、退屈だと思われがちなおクラシック音楽をわかりやすく知ってもらえるように、定期的なおペラ公演をはじめ、幅広い演奏活動を行っている。



市川 善忠 | 静岡市

ふじのくに文化情報センターセンター長、国立学法人静岡大学 教育学部 特任教授、人文社会科学部 客員教授。静岡県広報アドバイザー。2013年度より、文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業(アートマネジメント力育成事業)」を担当。広告賞多数、執筆多数。



平野 雅彦 (進行)